



見附小学校

# 生活指導だより

生活指導部

令和6年10月11日

みんなで

全校



作戦

「あいさつに関して、子どもの肯定的な自己評価と、大人の捉えにギャップがある。」

「教室で自他のために頑張っている意識がある一方、それが認められる機会が少ない。」

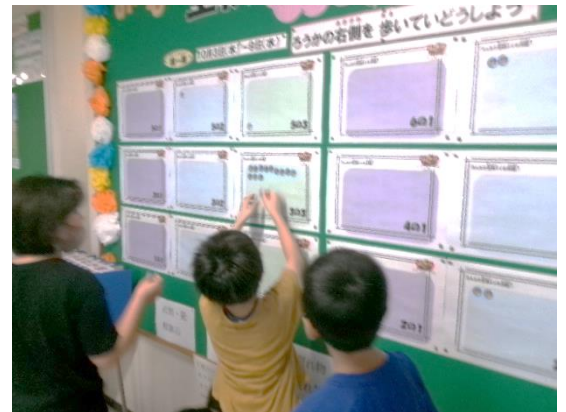
1学期の学校評価から、上記のようなことがわかりました。あいさつに関しては、街頭指導を通して保護者の皆様からも子どもたちの様子を心配する声がたくさん届いております。

そこで、あいさつに関する取組を進めている運営委員会、みんなが安心して過ごせるための行動を呼びかけている生活委員会の力を借りて、10月、11月に「みんなで全校イイネ作戦」を実施することにしました。

## 「みんなで全校イイネ作戦」の概要

- いいあいさつをしている子、自他のために頑張っている子に、職員、サポーター、生活委員会・運営委員会の子どもがシールを渡す。(委員会の子たちが重点化したい行動の観点を示す)
- もらったシールは学級ごとに用意された掲示物に貼り、学級の頑張りを可視化する。
- 生活委員会、運営委員会が連携し、10月、11月に行う。それぞれ1週目は生活委員会が安全な行動をテーマに、3週目に運営委員会があいさつと自他のために頑張っている行動をテーマに取組を行う。

10月の初回、生活委員会の取組では、「自分の頑張りを見てほしい!」と、多くの子どもたちがゆっくりと、安全な歩行をしていました。その姿を通して、担任の先生以外の先生や、委員会の高学年の子との関わりが増え、学校に子どもたちの明るい声と笑顔が増えたように感じました。また、集まった学級のシールを見て、「私たちの学級は頑張っているね」と学級の仲間の頑張りが絆を感じている子も大勢いました。



「シールがほしいだけなのでは?」という意見もあるかもしれませんが、学校としては、まずは自分の行動を認めてもらうという機会を大切にしていきたいと考えています。「大人が言って聞かせてやらせる」よりも、「子どもがやってみることで気付く」というスタイルで、望ましい行動をすることと、それを認めてもらうことを通して、望ましい行動の気持ちよさに気付いてもらい、今後の行動変容につなげていきたいと考えています。「そんなことは当たり前のことだ」と思う子には、自分の当たり前は人の役に立ったり、自分のよさとして認めたりしていいのだと気付いてほしいとも考えています。

次回は、21~25日に、あいさつと自他のための行動をテーマに運営委員会が実施します。学級ごとの頑張りは職員室前に掲示してあります。郷育フェスタで来校された際にぜひご覧ください。